

## トルコ中央銀行は通貨防衛のため緊急利上げに動く(2018年5月)

2018年5月24日

### お伝えしたいポイント

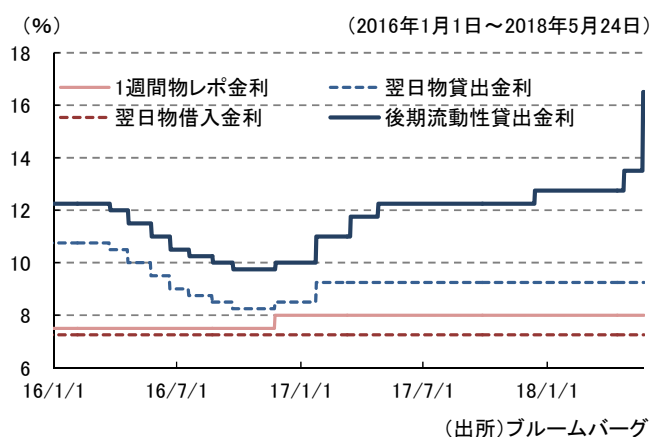
- ・ トルコ中央銀行は緊急利上げに動く
- ・ 中央銀行の緊急利上げを受けて、下落が加速していたトルコ・リラはいったん反発
- ・ 過去の大規模利上げ時には通貨は安定するも、長期的には経常赤字体質の改善が求められる

### <トルコ中央銀行は緊急利上げに動く>

トルコ中央銀行は5月23日(現地、以下同様)、後期流動性貸出金利を3.00%ポイント引き上げ、16.50%とすることを決定しました。今回の金融政策委員会は予定されていたものではなく、足元で加速していたトルコ・リラ安を受けて、中央銀行が緊急的な利上げに追い込まれた格好です。

トルコ中央銀行は声明文で物価の安定を支援するために強力な金融引き締めを実行すると決めたとしており、物価の安定のためにあらゆる手段を利用するとの姿勢を引き続き示しました。

### 《政策金利の推移》

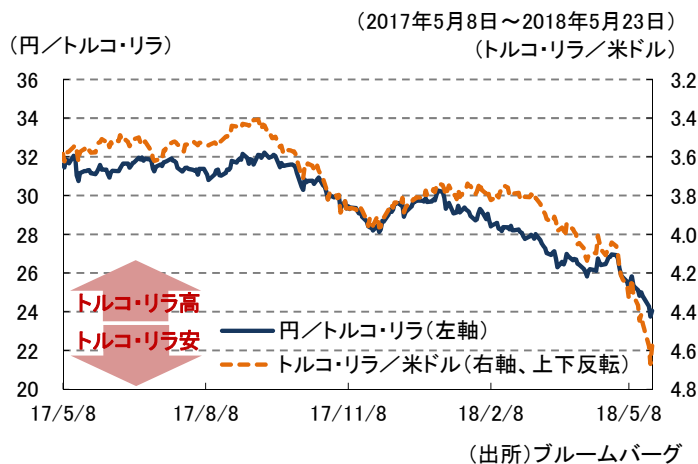


### <中央銀行の緊急利上げを受けて、下落が加速していたトルコ・リラはいったん反発>

ここもとのトルコ・リラの動向としては、エルドアン大統領が5月9日に緊急の閣僚会合を開催したことを受けて、市場では中央銀行の通貨防衛策の強化が期待され、いったんトルコ・リラの下落が止まりました。しかし、5月14日にはエルドアン大統領が中央銀行の政策に介入し、利上げを牽制する意向を示したことを受けて、トルコ・リラは再度下落基調となりました。

そして5月22日から23日にかけてトルコ・リラの下落が加速する中で、中央銀行が緊急利上げに動き、トルコ・リラは大幅に反発しています。

### 《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## ＜過去の大規模利上げ時には通貨は安定するも、長期的には経常赤字体質の改善が求められる＞

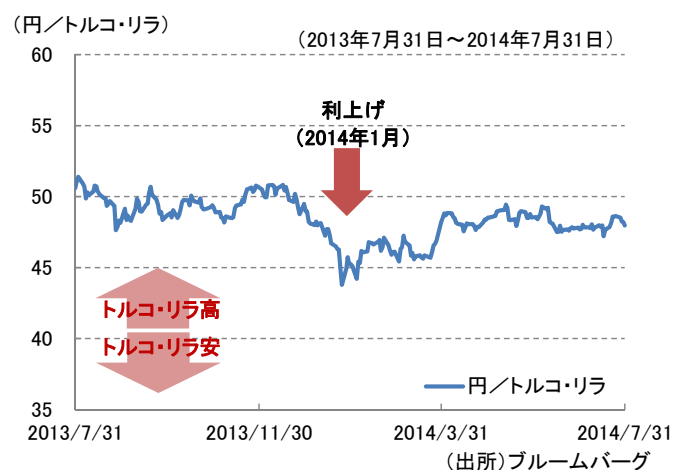
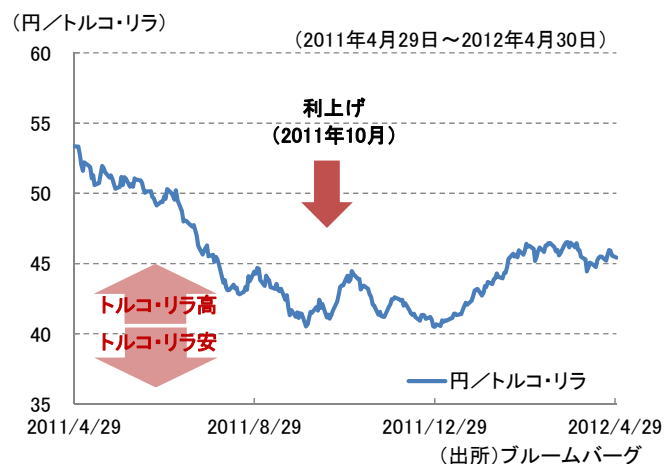
トルコ中央銀行が2011年や2014年に大規模な利上げに動いた際には、その後トルコ・リラは上昇、ないしは横ばいの動きとなりました。今回についても、中央銀行が大規模な利上げを行ったことでトルコ・リラの売り持ちを行うコストがより高くなったこともあり、トルコ・リラはいったんは安定を取り戻す可能性があります。

しかし、経常赤字体質といったトルコのファンダメンタルズが改善したわけではないため、政府の通貨防衛姿勢が揺らいだとみなされれば、トルコ・リラは再度市場の標的にされる可能性もあるでしょう。

長期的な視点では、トルコ・リラが安定するためにはトルコの経常赤字体質の改善が求められます。差し当たっては来月に予定されている選挙の動向やその結果、新政権が打ち出すであろうトルコ経済のせい弱性を改善させるための政策、およびその政策の実行状況を注視していく必要があると考えています。

以上

### 《過去の大規模利上げ時の為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・トルコ・リラは最安値を更新(2018年5月)～S&Pの格下げ以降、トルコ・リラは続落～(2018/5/8)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180508\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180508_1.html)
- ・トルコ金融政策(2018年4月)～短期的には中央銀行の利上げによる通貨防衛姿勢がトルコ・リラを下支え～(2018/4/26)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180426\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180426_1.html)
- ・トルコ・リラは一時最安値を更新(2018年4月)～目先は金融引き締め、長期的には経常赤字体質の改善が求められる～(2018/4/16)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180416\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180416_1.html)
- ・ムーディーズによるトルコの格下げについて(2018/3/9)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180309\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180309_1.html)
- ・トルコ金融政策(2017年12月)～トルコ中央銀行は利上げにより通貨防衛姿勢を示す～(2017/12/15)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171215\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_2.html)
- ・最近のトルコの為替・金利動向と今後の見通し(2017年11月)(2017/11/28)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171128\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171128_1.html)
- ・トルコと米国のビザ発給業務停止に関する報道を受けて(2017/10/10)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171010\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171010_1.html)
- ・トルコの最近の状況について(2017/10/5)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171005\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171005_2.html)
- ・トルコ4月金融政策委員会～中央銀行はインフレ見通しの悪化を懸念～(2017/4/27)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170427\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170427_2.html)

### ◇Weekly Report

- ・トルコの金融市場動向(毎週更新)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=7>

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会